



▲収穫の秋(昔ながらの掛け干し風景 蒲生町下久徳)

かごしま

あいら

市議会だより

No.29 9月定例会

平成29年11月30日発行

議会と語る会

複合新庁舎に意見集中

22

一般質問

録画再生に
ひとつに飛び

12

補正

救急車両の更新

7

決算

税金の使い道を確認

2

税金の使い道を確認



平成28年度決算を認定



▲中山間地域の活性化を推進します（山田の里かかし祭り）

皆さんが納めた税金がどのように使われたか、決算審査特別委員会を設置し、税金の使い道を確認しました。

そして、平成28年度の全ての決算を認定しました。

- 一般会計歳出額 **299** 億円
- 特別会計歳出額 **186** 億円

いかせ 提言！

27年度決算で指摘された課題が、28年度でどのようにいかされたのかを紹介します。

提言

校区コミュニティ協議会へのさらなる支援を。

提言

道路の拡幅・補修等の要望に対し、対応をさらに加速すること。

解決策

自助・共助・公助を基本とし、さらに情報提供に努めます。

解決策

費用対効果を数値化する判定表を作成し、地域毎の実施バランスを考慮しながら整備の推進を図ることとしています。

また、新たな提案についても調査・研究していきます。

整備の実施については、安全性等により緊急を要する工事以外については、要望があった時点から概ね5年以内に事業着手できるように努めていきます。

市民ひとり当たり借金額 **42** 万円

28年度の市債（借金）残高は、318億1945万円、市民ひとり当たりの借金は、42万円です。

市民ひとり当たり預金額 **9** 万円

28年度末の18の基金残高は、69億5018万円で、市民ひとり当たりの預金額は、9万円です。

※一般会計分です。

決算 自主防災組織

より充実を！

質疑 自主防災組織の現状と今後の取組みを問う。

答弁 各自治会の自主防災組織の結成率は、平成29年3月現在で、83・4%です。

今後は、各自治会の組織を更に校区コミュニティ単位で取りまとめて

いく考えです。

すでに竜門校区コミュニティは開設されています。

【指摘事項】

○自主防災組織の充実を図るため、災害に対する自助・共助の必要性をより認識してもらう取組みに努めること。



▲自助・共助の意識醸成を



▲空き家対策が喫緊の課題です

決算 空き家対策

調査内容は？

空き家対策事業は、空家等対策協議会を設置し、直ちに危険と想定される空き家の約1100軒を調査し、所有者に注意喚起するための資料を作成しています。

質疑 調査内容について説明せよ。

答弁 平成24年に実施した空き家の調査の件数に加えて、これまでの期間にあった様々な相談や苦情についても合わせて調査しました。
また、その間に解体等があった分については削除しながら作業を進めました。

決算 公共交通対策

要望に

沿うように！

地域公共交通会議を設置し、本市の将来にわたり持続可能な地域公共交通網の形成を目指す「始良市地域公共交通網形成計画」が策定されました。また、巡回バスや循環バスの利便性向上を図る

ため「フリー乗降制度」を導入しています。

【指摘事項】

○地域公共交通網形成計画の具体的な事業は、高齢者や体の不自由な方々など、利用者の要望に沿って進めること。

バス停	第1便	第2便	発	第3便	第4便	着
くすくす館	8:00	10:30		13:27	15:57	
蒲生	8:02	10:32	↓	13:25	15:55	↑
門前	8:03	10:33		13:24	15:54	
宮脇	8:04	10:34	↓	13:23	15:53	
大迫	8:05	10:35		13:22	15:52	↑
湯之前	8:06	10:36	↓	13:21	15:51	↑
米丸	8:07	10:37	↓	13:20	15:50	↑
中村	8:08	10:38	↓	13:19	15:49	↑
上村	8:09	10:39	↓	13:18	15:48	↑
平原	8:10	10:40		13:17	15:47	↑

▲表示のバス停区間は、フリー乗降が可能です（参考例）

決算 あいら斎場 悠久の杜

どんな工事？

あいら斎場建替え工事に向けて、火葬炉設備設置及び本体工事の管理業務の発注及び、火葬炉設備設置工事、建築本体工事、電気・空調・給排水設備工事、外溝・舗装・植栽の付帯工事が発注されました。

火葬炉は最新の設備を導入した4基を設置し、建築本体は、地元産材を使いゆったりとした建物となりました。

各設備は省エネを考慮しています。

また、外溝・舗装・植栽は建物と一体感があり使いやすく、周辺環境に影響を与えないものとなりました。



▲本年4月より供用開始されました

決算 子育て支援

待機児童は？

西始良に認定子ども園「ひまわりこども園」が開設され、西餅田に「おひさま保育園」が移転されました。

質疑 待機児童がいる一方、定員に満たない園があることについて説明せよ。

答弁 待機児童のほとんどが3歳未満児です。定員に満たないというのは、4歳5歳児の枠が空いて



▲西始良に開設された「ひまわりこども園」

いる状況です。

保育士不足により、各園とも3歳未満児を受け入れることが出来ない状況です。

【指摘事項】

○保育士不足の解消のために、あらゆる手立てを講ずるべきである。

○公立の幼保一体型認定こども園を3地区に1つずつ設置することを検討すべきである。

決算 森山家住宅改修

観光振興を！

平成27年度に策定した「森山家保存活用計画」「耐震診断・耐震計画」をもとに実施設計が作成されました。

母屋・旧作業場・土蔵を対象に耐震改修工事・機械設備・電気設備工

を行い、皆さまに公開出来るように整備されました。

森山家は、島津斉彬が興した集成館事業で大砲造りにも参画した豪商です。

西郷隆盛も立ち寄ったといわれています。さらなる観光振興を求めます。



▲「西郷どん」放映を控え、11月2日に開所式が行われました



▲素晴らしいロケーションの展望台

決算 さえずりの森

魅力の洗い直しを！

質疑 昨年の指摘事項にあった、さえずりの森の管理状況を問う。

答弁 NPO法人四季の会が指定管理をし、常駐人員は6人で管理をしています。

施設内の利用者数は6038人で8月が一番多く7月から9月の3か月間で年間利用者数の約半分です。

質疑 どのようなイベントを行っているか。

答弁 絵画パフォーマンス、ニジマスのつかみ取り、ピザつくり体験、シイタケの駒打ち体験等を行っています。

【指摘事項】

○さえずりの森の魅力や価値を洗い直し、再構築する場として、あり方委員会をつくること。



▲建て替えられた新富住宅

決算 家賃滞納対策

対応は？

質疑 保証人への家賃完納依頼書の対応を問う。

答弁 相談があった時点で分納制約を結んでおり、成約が果たせてない方は窓口にも本人と一緒に来ていただいで指導しています。

質疑 公営住宅の空き家状況を示せ。

答弁 全空き家のうち、政策的空き家では廃止予定住宅の空き家が113戸、仮入居が5戸で164戸が実質的な空き家です。

【指摘事項】

○公有財産の見直しを進める今、公営住宅の有効活用を検討すべきである。



▲いつもおいしい水を運んでくれます

決算 中津野取水設備

効果は？

質疑 中津野取水2号施設設備の状況と効果を問う。

答弁 中津野2号井戸の掘替え工事を実施し、50メートル掘削して、一日あたり3530トンの水量があり、適正揚水量70パーセントの日量2500トンの水量を確保し、

船津浄水場へ送水しています。

入学準備金を入学前に 1986万円



▲入学準備に多大な出費

今年度、就学援助費の入学準備金は、単価の改正により小学生4万6000円、中学生4万7400円となっております。昨年 비해、援助を受ける児童生徒が増加しました。

また、長く議論し要望のあった入学前支給がようやく実現しました。来年4月の入学に合わせて、3月に支給されました。

総合運動公園の体育館改修は、昨年12月に議会提議されました。しかし部分的な改修でなく、修理の必要な他の部分も一連の工事として実施すべきであるということから、議案が減額修正されました。

その後、総点検が行なわれたことにより全体的

総合運動公園の体育館改修 4200万円

な改修が実施されます。定期的な総合点検をルール化し、長寿命化をはかるため、各部署間の連携の強化を求める意見もありました。

補正予算額

3億2293万円
予算総額 **294億4548万円**

補正

轉らしやすいまちづくり予算

どくだみリキュール酒 6次産業化の促進 60万円

現在、蒲生のフォンタナの丘では、どくだみリキュール酒が製造・販売されています。

本市では、6次産業化の促進を行っており、どくだみリキュール酒の特区に指定されています。少量ですが、どくだみの自主生産や農家からの

買い上げ、商品化、販売まで地域を巻き込んで取組まれています。

この、どくだみリキュール酒の品質改良を図るため、新しい過装置を設置する補助金の追加計上です。



▲どくだみで6次産業促進

くわしほこ

精矛神社にトイレ設置

2048万円



▲写真右側敷地に設置予定

加治木地区には観光ポイントを巡る散策コースとして、龍門滝や龍門司坂の北部コース、島津屋形跡や精矛神社の南部コースがあります。

南部コースでは気軽に使用できるトイレがなく、懸案事項となっていました。

今回、コースの要所にある精矛神社の駐車場の一部を譲り受け、公衆トイレを新築設置します。

龍門滝温泉の改修計画

400万円

龍門滝温泉は平成4年に建築され、加治木地域の保養施設として、特に高齢者などに長く親しまれてきました。

現在25年が経過し、施設の傷みや設置されている機器の故障等で利用者に迷惑をかけています。そこで、平成30年度以

降の大規模改修計画に向けた設計業務の委託を行っています。

質疑 大規模改修をする

と休館があるのか。

答弁 平成30年度は指定管理委託を解約して工事着工までは直営で営業します。

工事が始まると休館となります。



▲より利用しやすい温泉へ

救急車両の更新

1965万円



▲安全な搬送が望まれる

高規格救急車は救急救命士による高度な処置を行える資機材を搭載した車両です。

使用をはじめから16年が経過する車両部品の一部が故障し、修理不能であったことから、車両のみを更新します。

救急搬送時の傷病者や職員の安全確保および、

救命活動に支障のない体制を整えるための予算計上です。

質疑 今回16年半で買い換えとなるが、車両更新のサイクルはどうなるか。
答弁 車両の更新は概ね救急車10年、水槽付消防ポンプ自動車は15年を目安にしています。

条例

市長の給与を2か月間減額

本年7月に発生した職員の不祥事に関して市長は9月11日、懲戒処分を行いました。

この件について、皆さまに多大な迷惑をおかけしたことから、責任を明確にするために、市長給与の10月と11月の2か月間を1000分の10減額、副市長についても100

分の5減額することとしました。

可決
賛成13名
反対10名

修正動議は否決

提案された条例に対し、「職員との信頼関係が築けていないのではないか」「不祥事を未然に防げなかつた責任は重い」「削減額に責任の重さが感じられない」とのことから、減額の月額について、市長は1000分の20に、副市長は1000分の10に増額する修正動議が提出されました。しかし、賛成10、反対13で修正案は否決されました。

火災関連設備の違反はホームページで公表

設置義務がある屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、または自動火災報知設備の未設置者に対し、違反がある場合に消防本部のホームページで公表することになります。

設置義務がある屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、または自動火災報知設備の未設置者に対し、違反がある場合に消防本部のホームページで公表することになります。

対象は、火災が発生した場合に避難が困難と想定される建物で、映画館・遊技場・飲食店・物

可決
賛成23名
反対0名

工場緑地の規制緩和



▲工場に必要な緑地 (九州新進株式会社)

工場立地法に基づき定めている、工場敷地内の緑地面積率を市で策定する条例です。

今までは国の基準20%以上でしたが、準工業地域で10%以上に、工業地域と工業専用地域、また用途地域の定めのないところは5%以上に緩和されます。

このことにより、事業所側の負担軽減につながり、企業の振興が図られ、雇用の創出等の効果が期待されます。

可決
賛成18名
反対5名

議会の審査では、「工場の増設や新たな進出に繋がる」や「緑地が減るので緩和すべきでない」などの意見がありました。



▲火災予防はしっかりと！

施設の休館日を変更



▲始良弓道場



▲椋鳩十記念館

教育委員会が所管する、体育館・公民館・スタジアムランドAIRAや文化会館などの施設で、年末年始の休館日が設定されていないものや「12月28日から翌年1月4日まで」と規定されているものを、市の休日定める条例に基づいて「12月29日から1月3日」までに統一する改正です。
本年の年末年始からとなります。

その他の条例

○過疎地域産業開発促進条例に物産館を追加する改正

可決
賛成23名
反対0名

組織犯罪処罰法の廃止を政府に求める意見書に関する請願書

請願者／山下 晶子
紹介議員／神村 次郎・本村 良治

請願 不採択

請願の趣旨

犯罪を計画段階から処罰できる「共謀罪」の趣旨を含む「改正組織犯罪処罰法」が7月11日に施行されました。
法律を捜査当局に恣意的に運用されれば、いくらでも理由は後付けで対象を具体化し、都合よく解釈して捜査・逮捕することができ、冤罪をも生む大きな危険性があります。

市民運動に対する監視を「合法」にし、納得のいかないことに対して声を上げる市民を委縮させ、憲法で保障されているはずの表現の自由を奪いかねません。
国会での熟議を尽くさないまま成立し、国民の内心の自由を侵すような法律は廃止するよう政府へ意見書を提出していただきたくお願い致します。

反対討論 竹下日出志
テロ等準備罪の新設を柱とする改正組織犯罪処罰法の成立を受け、日本が188番目の締結国となり、国際組織犯罪防止条約が8月10日から効力発生した。この条約の締結国になり、テロなどの未然防止へ187国・地域と連携を密にすることが可能になった。

反対討論 堂森 忠夫

一般人は対象にならない。犯罪を目的に、組織に加入すると対象者になる。国際組織犯罪防止条約締結の条件は故意に行われた行為を犯罪とするようになっていた。東京五輪の際にテロ等の重大犯罪を未然に防ぐ。

反対討論 犬伏 浩幸

①「組織犯罪集団」と関わりのない一般の方々が処罰されることはないことを認識する。
②「計画・実行準備行為」という「行為」を処罰するものであって、内心の自由を侵すものではない。

③通信傍受法上、捜査で「通信傍受」を行うことはできない。
賛成討論 神村 次郎
この法律は犯罪を計画した段階で処罰するもので、日本の刑法体系を大きく変えるものとなっている。法律の先にあるのは、平和な市民生活と安心である。懸念や不安を残したまま法律が成立した。このままではいまいいのだろうか。

賛成討論 本村 良治

憲法に沿ってこの法律

が作られているか。

法的安定性は確保されているのか。法務大臣や安倍首相の答弁がクルクルと変わり、どれが本当かわからない。いまだに何をすれば法律に違反するのか国民に説明すらなされていない。

賛成討論 渡邊 理慧

この法律は「心の中」内心を処罰するもので、思想・良心の自由などを侵害する。捜査機関の恣意的判断で一般の人が監視され、逮捕や処罰される恐れがある。
テロ対策の対処は13の関係条約に沿った国内法で十分可能である。

採決結果

賛成10 反対13で不採択でした。

賛成	10	反対	13	総投票数	23
1	X	2	X	3	X
4	X	5	X	6	X
7	X	8	X	9	X
10	X	11	X	12	X
13	X	14	X	15	X
16	X	17	X	18	X
19	X	20	X	21	X
22	X	23	X	24	X

—委員会レポート—

新庁舎建設の動き 複合新庁舎建設等調査特別委員会

市複合新庁舎建設検討委員会検討事項等

- 本庁方式に移行し、市民サービスの向上を図る。
- 本庁舎は、現在の本庁舎敷地内に整備する。
- 加治木・蒲生庁舎を複合新庁舎とする等



- 市民アンケートに、本庁方式移行についての質問項目を追加した。
- 事務所設置方式についての方向性をアンケート実施後に協議することとした。



※住民説明会開催
※市民アンケート実施

- 市民アンケート、住民説明会等を踏まえ、本庁方式（始良庁舎に集約）に移行することとした。



- 検討委員会のスケジュールを修正し、答申を来年1月に行う予定。

特別委員会
議論白熱!!



▲様々な観点から議論を行っています

議会特別委員会の動き

- 市民アンケートは、本庁方式への移行を検討していることを質問項目に追加すべきではないか。
- 事務所設置方式についてはもっと慎重に検討すべきではないか。
- 本庁方式になれば、加治木・蒲生地区の衰退につながるのではないか。



- 住民説明会は、子育て世代や若い世代が少なかった。もっと機会をふやしてもよいのではなか。
- アンケートは地区別に分析できないのか。



【今後の検討課題等】

- 合併協定項目をどう捉えるのか。
- 加治木・蒲生地区の活性化をどのように図るのか。
- 将来への負担にならないか。財政は大丈夫か。
- ハコモノだけでなく、適正な人員配置やスムーズな情報伝達が求められるのではないか。



▲市民の皆さまと意見交換会を行いました

広報広聴 特別委員会

議会広報の
先進地を研修
してきました。

委員会
レポート



7月18日に愛知県弥富市、7月19日は岐阜県可児市にて、広報班6名が議会だよりを中心に一般的な広報について視察を行いました。

視察 愛知県／弥富市 SNSも活用

人口約4万4000人の弥富市は金魚と芝桜で有名なまちです。

議会広報では、若い議員が広報委員に加わることに、新しい意見が聞けるよう取り組んでいました。

弥富市の議会だよりは一般質問のページにQRコードが掲載されています。これにより質問者の動画をすぐ検索することができます。

改選ごとに投票率が低くなっている事や、傍聴

者が少ないことから、フェイスブックやツイッターを活用し、積極的な議会広報が行われています。



視察 岐阜県／可児市 「議会のトビラ」

可児市は人口約10万1000人のバラが有名なまちです。

議会だよりは、誰でも気軽に議会のトビラを開いてほしいという思いから「議会のトビラ」という名前を採用していました。

本会議以外で行っている活動の報告も掲載され、議員の活動をお知らせし

ています。

可児市は議会改革が進んでいることもあり、議会ホームページで議長公務や議会活動、委員会活動を公開するなど、市民がわかりやすい議会広報に取組まれています。ケーブルテレビやFMラジオなど、さまざまなツールを活用した広報が進んでいました。

また、両市ともボランティアの方々が協力して議会だよりの音訳版作成を行うなど、視覚障害の方への配慮もなされていました。



視察を終えて

今回の視察で、議会広報を進めることは議会改革につながっているということを改めて感じました。市民アンケート調査を行うなど、今後の参考にしていきたいと思っています。

議会だよりを
ホームページで
音読しています。
(弥富市・可児市)



QRコードで一般質問の 録画再生にひとつ飛び

弥富市で紹介したQRコードを本市も早速採用することになりました。

次ページからの一般質問コーナーで各議員に添付されているQRコードをスマートフォンで読み取ると、市のホームページに掲載されている動画ページに直行し、録画を再生することができます。一度お試しください。

③まずは議長
お出迎え

①スマホのQR
コード読取
アプリを立ち
上げる

②カメラ機能
でQRコード
を読み取る



水道事業

今後の計画は

市長／計画的な推進に努める



田口 幸一



田口 老朽管更新や配水池の築造等の今後の事業は、どのように進んでいるのか。

市長 水道事業会計予算のうち、建設改良工事を行う資本的収支予算では、水道料金等の収益は財源として使えない。積極的な投資活動をするには、通常の損益勘定留保資金に加え、企業債や建設改



▲始良市の配水池

良積立金等で補てんすることになる。

今年度から重富水道施設工事に着手するほか、老朽管の更新事業を推進していく企業債は継続して借り入れる。

また、浄水場や配水池など全ての固定資産の更新時期の精査を行い、中長期的な視点に立った施設の更新計画をもとに、企業債の元利償還やその他のバランスを踏まえた「始良市水道事業経営戦略」を策定し、水道事業の計画的な推進に努めて

その他の質問
○地方債発行と一般財源

を問う

一般質問



湯川 逸郎



資源物

市長／集荷所等を新設

改善と弱者対策は

湯川 市長は、市長選挙に出馬された際、資源物等の改善を重点項目として掲げられ、多くの市民の方々も期待をされた。

これまで、改善されたものは、計量廃止のみで弱者対策など改善されていないのではないか。

今回は平成22年度と28

年度を比較した資源物取り扱いの改善と弱者対策を問う。

市長 資源物取り扱いの改善については、始良地区は、軽量製の廃止のほか、重富地区と松原地区に集荷所を新設するなど、排出機会の改善を行った。

加治木地区は、紙類を6種類から4種類へ、アルミ缶とスチール缶を飲料缶と食用缶へ簡素化を図った。

蒲生地区は、資源物袋からネットコンテナ方法による集荷方法の統一を図った。

湯川 平成22年度と28年度の資源物取り扱いの推移と契約関係、中間処理経費等について収集実績837トン減、中間処理経費1327万円増、収集運搬経費906万円増、資源物売り上げ1635万円減、個人持ち込み分経費、別表により問う。

市長 答弁の内容は別表と、概ね同じ。

その他の質問
○加治木港周辺を活用したまちづくり

資源物取り扱いの平成22年度と平成28年度の比較

費目	22年度	28年度	比較
収集実績	2,899トン	2,062トン	837トン減
中間処理経費	3,000万円	4,327万円	1,327万円増
収集運搬経費	6,524万円	7,430万円	906万円増
資源物売り上げ	3,864万円	2,229万円	1,635万円減

資源物収集箇所毎の個人持ち込み分経費比較

収集場所	22年度	28年度	備考
リサイクルセンター	277万円	335万円	シルバー委託
別府川	104万円		シルバー委託
加治木	124万円		シルバー委託
重富（JA重富蔵）		55万円	重富地区委託
※5か所一括契約（別・加・松・蒲・重）		606万円	シルバー委託
計	505万円	996万円	491万円増

▲資源物取り扱いの平成22年度と平成28年度の比較表

財政状況

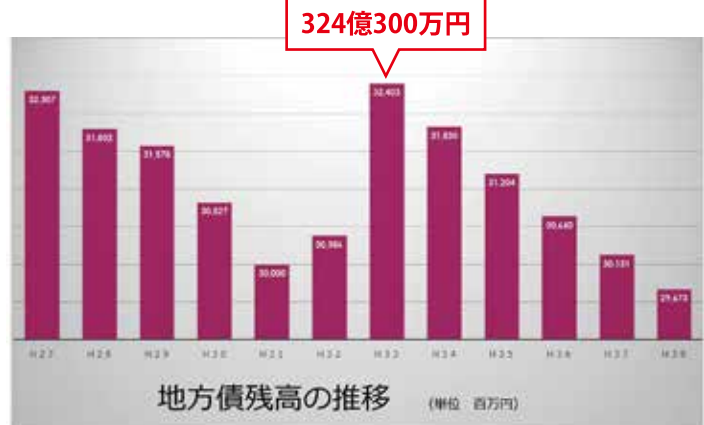
見通しと認識

市長／健全化への取組みを継続



和田 本市の現在の財政状況及び、複合新庁舎建設に伴う財政計画をどのように認識しているか。

市長 平成28年度は火葬場整備など大型建設事業を実施したことにより、約300億円の決算額となった。



▲平成33年にピークの地方債残高

市政

18人が

働き手 人材不足、技能実習生への支援を急げ

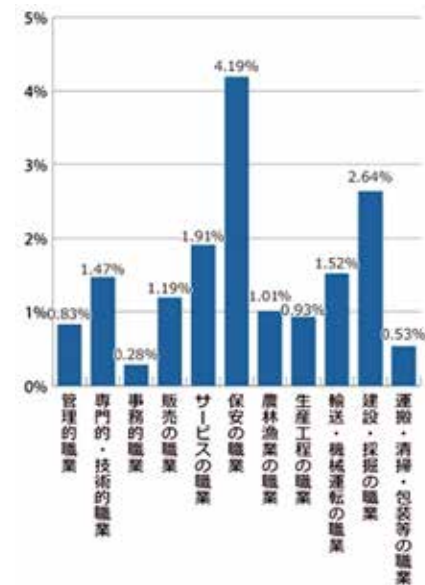
市長／支援環境が整いつつある



鈴木 働き手の人手不足は深刻な問題になっているが、支援についての考えを問う。

市長 本市と鹿児島労働局、国分ハローワークの3者による始良市雇用対策協定運営協議会を設置し、雇用対策の協議を重ねている。

企業の研修ニーズを把握し、外国人技能実習生の研修機会が拡充することで企業側の雇用不足の解消に良い影響をもたらす、支援環境は整いつつある。



落札率とクレーム率の関係は
市長／関連性は特定できない

鈴木 入札における総合評価方式試行に当たり、現在の落札率と市民からのクレーム率の関係を示せ。

市長 合併後、質の低下した公共工事は無く、逆に少しずつ向上してきている。

クレームに関しても最低制限価格を初年度より導入している関係で、ダンプینگ受注に該当する工事は無く、落札率とクレーム率の関連性を特定出来なかった。

まれに工事での振動・騒音のクレーム等はある。

防災ラジオ

全家庭に設置を

市長／有償配布を予定



本村 良治



各家庭には来年度以降、一部負担で有償配布を予定している。

公共交通の改善

市長／公共交通会議で議論

本村 緊急情報を正確に全市民に伝えるために、防災ラジオを全家庭に設置してはどうか。
市長 今年度は、災害時の集団避難や避難行動に時間を要することに考慮し、市内の小中学校・保育所・幼稚園等に配布す

本村 地域公共交通の改善について、公共交通会議でどう検討されたか。
市長 市民のニーズに応じた路線の見直しや新たな移動手段の導入、公共

施設や病院、買い物施設等への移動手段の確保を図るために公共交通会議で議論を重ね、本市の公共交通網の形成に向けて取り組んでいく。

その他の質問

○学校現場の働き方改革の促進



▲受信機



▲防災ラジオ（FM緊急割込告知放送ラジオ）イメージ写真

市職員 人材育成を図れ

市長／体制を整備する



堂森 忠夫



堂森 未来を拓く職員のために、塾や研修制度を図り、市職員としての倫理観を高め実践活動等の人材育成を図れないか。
市長 市民のニーズに的確に対応し、社会経済情勢の変化に柔軟に対応できるよう組織を強化する。塾の開設や市の風土・産業、市民の方々に直接触れる体験を通じて研修



▲本市は県内一の桑茶生産地

・研鑽を積むことは、市の活力の向上に繋がる。より多くの職員がより多くの活動に積極的に参加し、自己啓発能力開発に努める体制を整備する。

喫煙と健康管理

市長／健康講話で喫煙率が減少

堂森 今後たばこ税等に代わり薬草・桑栽培や健康産業の推進を考えているか。

また、喫煙を止められない職員に対しての指導と対応を問う。

市長 代替作物の検討は行っていない。たばこに関する健康講話で、受動喫煙のリスクや禁煙外来での治療方法、禁煙補助薬の紹介や意識付けを行っている。

毎年、喫煙状況調査を実施している。平成29年度の喫煙者は138名である。

健康講話後は、喫煙率が減少傾向にある。

サボラーン ド始良

糞や草刈対策

市長／シルバー人材センターを指導



萩原 サボラーンドパーク始良内で、アナグマやコウモリの糞が路上やトイレに散見され、衛生的にも問題である。

また、最近草が生い茂り、ヘビ等が出て来て怖がれている状態である。対策を問う。

市長 糞対策は、進入ネットを改良したところ、以前より進入が少なく



▲今後安全が保たれる重富中弓道場前の道路

なった。その都度、清掃処理している。

また、雑草の繁茂については、適切な作業管理を行うよう、シルバー人材センターを指導する。

重富中学校西線の整備 市長／整備は43%

萩原 重富中学校の南西にある市道と5差路は、現在改良工事に取り掛かっているが、計画通りに工事は進んでいるのか。

市長 同中学校西側から延長137メートルを10月23日までの工期として現在施行中である。

8月末における整備状況は43%である。

その他の質問 ○あいら夏祭り

宿泊施設

多様な形態を

市長／民泊等の創生を検討



吉村 「始良市旅館・ホテル施設誘致促進条例」は廃止になったが、今後観光面も含めて体験型と組み合わせた農家民泊など、多様な形態の宿泊施設は考えられないか。

補助対象だが、公立は補助の対象にならない。

吉村 小山田保育所は、場所を移すか、敷地を嵩上げて改築する必要はないか。

また、公立保育所にはどのような課題があるか。

公立保育所の課題は 市長／検討委員会より提言

市長 本年6月16日に交付された「住宅宿泊事業法」など、民泊への気運は高まっているので、官民共同して、市内での民泊等の創生を検討する。

吉村 公立保育所に財政的な課題があるのか。

市長 建替え、大規模改修は、社会福祉法人などの民間事業者は国・県の



▲課題を抱え移転新設が望まれる小山田保育所

市長 公立保育所あり方検討委員会では、河川沿いの低地で河川氾濫の影響をうけやすい施設や、周囲を建物に囲まれて、火災等の避難経路確保に不安のある施設がある。

小山田保育所は、検討委員会より提言を受けている。

その他の質問 ○政治活動のあり方

支所庁舎の先行整備を

複合新庁舎

市長／本庁を先行



神村 次郎



神村 合併して、周辺地域が寂れる現状から、一体的なまちの発展のために、支所庁舎を先行して整備できないか。
市長 耐震性に不安のある3庁舎のうち、災害対応の司令塔機能を有する本庁舎を先行して建て替え、複合新庁舎は、一つの建物で用件が完了するワンストップ化を目指す



▲賑わいの拠点となるか、加治木庁舎

ものを考えている。

種子法の廃止の対応策は 市長／県に要望していく

神村 主要農産物の種子法の廃止による本県・本市の農業についての影響と、それについての対応策を問う。
市長 本県における優良品種の開発、種子生産の

体制は、当面維持される
と聞いている。
これまでどおり、県の
品種育成の普及・研究が
継続されるよう要望して
いく。

防犯灯

料金負担を行政で

市長／今後、検討する



東馬場 弘



東馬場 自治会未加入については「のぼり旗」を設置し努力されているが、加入率など成果を得ているか。
市長 始良市自治会運営推進協議会が、市内の主

92・59%であり、全体では85・9%である。
東馬場 電気料金を自治会が負担する防犯灯は、多くの人が恩恵を受けている。
未加入世帯との不公平感もあるとの声もある。
税の負担の公平の観点で、行政で電気料金を負担できないか問う。
市長 自治会防犯灯は、通行する不特定多数の市民等が恩恵を受けることは理解している。
現在のところ、今の方式を維持したいと考えるが、今後検討していく。

要な施設や自治会集会施設などに「のぼり旗」を設置し、加入推進がなされたことにより、自治会への加入につながったとの報告もあった。
今後、推進会議において、全体的な集約を図ることになっている。
加入率については、始良地区90・38%、加治木地区74・49%、蒲生地区



▲自治会加入の「のぼり旗」

人権

性犯罪・性暴力 被害者守れ

市長／相談窓口の周知と意識の醸成を図る



新福 愛子



新福 性犯罪・性暴力は「魂の殺人」とも言われ被害に遭ったことを誰にも相談できずにいる被害者を守れないか。

本市での現状と課題を問う。

市長 被害者の支援ができるよう、県の相談機関や警察署・民間団体や施

設と連携し体制を整えるとともに相談員の研修にも努めている。

県に開設された「#8103」や相談窓口に関する周知広報の強化、人権啓発の講座や学習機会の提供で市民の意識の高揚と醸成を図る。

単独調理場のあり方 教育長／改善できるよう検討中

新福 始良地区8校の単独調理場と加治木学校給食センターは、文科省が定める基準に適合していない。

今後のあり方について問う。

教育長 栄養教諭や調理員の最大限の努力により重大な事故が発生することもなく安全・安心な学校給食の提供が出来ている状況である。

できるだけ早く改善できるよう検討している。

その他の質問
○新庁舎建設に職員の働きやすい環境整備を

FLLOWER (フラワー)とは
性暴力被害者サポートネットワークかごしまは、性暴力被害に遭った方が、安心して相談や医療機関のアクセスが、被害者支援、心理的ケア、法的支援が受けられるよう、市民生活センター、警察署、保健所、福祉センターと連携し、安心して生活できるサポートネットワークです。

電話相談、面談相談のほか、ご希望に応じて動物療法の紹介、病院等への付添いなども行います。緊急は断れません。

- (公社)かごしま被害者支援センター
099-228-8341 10:00-16:00 火-土曜日(休日を除く)
- 性被害被害110番(鹿児島県警察本部)
099-206-7867 日130-17:00 月-金曜日(休日を除く)
- 被害者支援総合窓口(鹿児島県)
099-286-2523 日130-17:15 月-金曜日(休日を除く)

▲ひとりで苦しまないで
「性暴力サポートネットワークかごしま」

削減に取り組み

市長／冷蔵庫チェック等

食品ロス



竹下日出志



竹下 家庭での食品在庫の管理や食材の有効活用

の取り組、飲食店等で「残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」をどのように考えるか。

市長 食品ロス削減に向けて市民・事業者・行政が一体となった運動を展開することが重要である。市衛生協会でDVDを作成し、各自治会へ貸出



▲みんなといっしょにブクブクうがい(高井田保育園)

による広報を行っている。市生活学校では、冷蔵庫チェック等を先進的に取り組んでいる。

士と連携し、希望する保育所に向いて、その効果や進め方など導入に向け支援を行っている。

フッ化物洗口の推進 市長／導入に向けて支援

竹下 県は、「かごしま歯と口腔の健康づくり県民条例」に基づき、フッ化物洗口を推進している。

本市の保育園、幼稚園、小・中学校でフッ化物洗口の推進を考えないか。

市長 フッ化物洗口の推進は、保健所の歯科衛生

その他の質問
○公共施設の効果的利用とあり方

駅前駐輪場

公平な整備を

市長／順次、整備進める



森川 和美



森川 始良駅は、道路整備と併せて駐輪場も立派に整備された。

重富・帖佐駅は遅れているが、市民の利用する施設は公平な環境に努めるべきではないか。

市長 重富・帖佐駅については、駅前広場が都市計画決定しているが、現



▲帖佐駅



▲始良駅



▲重富駅

在は未整備の状況である。今後、他の都市計画道路を含め、優先順位を整理した上で順次、整備を進めていきたいと考えている。

場所によって、大きく程度が異なることがないよう配慮していく。

コンビニでの各種証明書交付急げ
市長／実施について検討する

森川 本市は、コンビニで税金等の納付は実施さ

○事業所のごみ減量対策
その他の質問

若者の声を市政に

若者支援

市長／自由闊達な意見を大いに待ちたい



小山田邦弘



小山田 本市の若者支援の基本的考えを示せ。

市長 現在、子ども・若者計画の策定には至っていない。今後は国や県と連携を図り、先進事例を踏まえて、子ども・若者の育成支援計画について協議会の設置を含めて研究していきたい。

小山田 若者の声を市政に反映するため、審議会



▲選挙制度に加え、市政全般に若者の声を生かす仕組みが必要

などの年齢構成にルールをつくるなどの工夫をしているところもあるが、本市の状況はどうか。

市長 現状では審議会への参加要請は各種団体の長に出している場合が多く、どうしても高齢の方中心になっている。

小山田 若者が集まっている今、その声が反映できる仕組みを作り、その力で人口減少でも持続可能なまちづくりをすべきだと思いませんか。

市長 審議会のあり方も含め、市政を考える中に

若い人の自由闊達な意見を取り込めるような仕組みを用意し、職員を含め若い人からの意見を待ちたいと思う。

個性を發揮した取組みを

市長／地域と一体となり取り組む

中山間地域



湯元 秀誠



湯元 中山間地域では人材の減少など、将来の模様がどう進んでいくのかわかりにくく不安が醸成されつつある。移住定住促進事業が復活したが、その理由と前回との違いは何か。
市長 人口減少で地域課題の対応力など弱まっている。違いは転入者だけでなく、市内の転居者も補助



▲始良の田舎暮らしの情報発信をもっと積極的に！

対象とし、引越し費用の助成、2年間の借家家賃補助も新たに設けた。
湯元 個性を發揮した取り組みは考えないか。
市長 中山間地域への体験ツアーやお試し滞在など、あらゆるびゅう号の活用を含め地域と一体となり取り組む。

間伐事業の民事訴訟

市長／司法の判断を尊重すべき

湯元 森林組合の事業で無断間伐により民事訴訟が起き、原告の勝訴となった。
市への報告や、その対応を問う。
市長 報告は受けている。司法の判断を尊重すべきと考え、再発防止の助言を行っている。

市営温水プール

設置の検討は

市長／計画的な整備に努める



渡邊 理慧



渡邊 市民からはプール建設の要望が多く、今までに陳情も出されている。現在、公共施設の全体的な計画がなされているが、プール建設についてはどのような協議があったか問う。

市長 市営温水プールについては必要性を感じているが、公共施設の整備に当たり、まずは複合新庁舎の整備を最優先に考えている。
今後、公共施設のあり方を検討する中で、既存の施設利用を含め、計画的な整備に努めていきたい。



▲市民の健康づくりに！

簡易な修繕の上限額引き上げ
市長／当面は現行の形式

渡邊 本市が発注する簡易な修繕等30万円未満の工事は、受注希望者の登録制度になっている。

小規模事業者が意欲的に登録し、受注の機会を増やせるよう上限額の引き上げ等を検討できないか。

市長 技術上の資格や許同等の関係など、1件1件が少額のため、額を引き上げると発注件数自体が減ることが危惧されるので、当面は現行の形式がよいと考えている。

その他の質問

○核兵器禁止条約

議会改革って
進んでるの？



ギカイの窓

みなさんの
素朴な「ギモン？」に
答えます。

今回は審議の仕方における「改革」を紹介します。

今まで議会は、議案説明⇒質疑⇒討論⇒採決という流れで審議をしてきました。つまり、説明を受けて、疑問があればこれをただし、賛否を表明して、採決してきたわけです。

しかし、これでは執行部案のチェックに力点が置かれがちでした。

このため、現在は質疑⇒討論の間に、「論点抽出」と「議員間討議」の2つのプロセスを加え、意見を出し合い議論して、提案・提言ができる議会を目指しています。

もっと

提案・提言できる議会



議員間 討議

ここを変えたらもっとよくなる
から提言しよう！



議会として合意形成できる？できないポイントは？

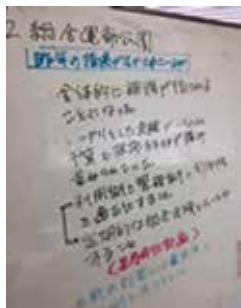
論点について自由に意見を出し合います。議論が同じ方向に向かえば、その論点は合意形成されたとなり、異なる場合は「争点」を明らかにして討論へと進みます。

論点 抽出

市民目線と合っている？

論点抽出とは、議論する際のテーマを出し合い、設定することです。各議員が少しでも気になる点や問題点があれば自由に出し合います。

◀各議員の意見を書き出し、共有しながら議論を深めています。



論点抽出、議員間討議が活かされてきた議会の動き

28年12月定例会

執行部が始良総合体育館の屋根ひさし部分の補修に関する議案を提出。

論点抽出

付託先の産業建設委員会でひさし部分以外の点検が不備であることを論点に抽出。

議員間討議

安全確保を争点に、速やかな工事着工と見直しによる総点検と工事实施で議論が白熱。

29年9月定例会

議会による提言が活かされた補正予算案が執行部より再提出され、議会でも承認。

執行部再検討

ドローンなどを用いた点検を行い、ひさし部分だけでなく全体的な工事を検討。

予算審査特別委員会

意見が二分。討論、採決の結果、原案を減額修正し、総点検と工事見直しを提言。

語る会

動費に多くの意見

市政に反映



▲加治木福祉センター（参加者29人）

始良市議会では、市政に関する情報を市議会独自の視点から市民の皆様にお知らせし、市民と議会が自由に意見交換する場として「議会と語る会」を開催しています。

今回は、新庁舎建設や政務活動費についても意見交換しました。10月26日(木)加治木福祉センター、29日(日)西始良校区南自治集会所で実施し、多くの市民の皆さまの参加がありました。

9月議会の内容を報告の後、地域の課題をはじめ新庁舎建設や政務活動費について多くの意見や質問が出されました。

蒲生地区については、台風のため開催が延期となり、掲載できませんでした。

加治木 福祉センター

市に対する主な要望

市民 質問 校区コミュニティの情報伝達に防災無線を活用できるようにしてほしい。

議会 防災無線は、災害の時に使えないと言う課題があります。

市民 加音ホールのトイレは、障がい者が使いやすい施設に改善してほしい。

議会 改善していくよう強く行政に訴えます。

市民 新庁舎建設検討委員会に加治木地区の委員が入っていない、配慮がほしい。

議会 各常任委員会から委員として参加しているためです。

市民 避難所と緊急避難所との違いを市民は知らない、情報をしっかり伝えてほしい。

議会 地域防災の大切さや、避難所の検証も含め議会で求めていきます。

その他の要望

○ 合併して8年加治木の街をどうするか、新庁舎は市民目線で進めてほしい。

○ さえずりの森の展望台の近くにレストラン、物産館を作ったら街の活性化になるのではないかと。

○ 障がいがあっても体づくりができるプールやジムの施設整備をしてほしい。

西始良 南自治会集会所

市に対する主な要望

市民 議員の役割は何か。議員はコミュニティとの架け橋となるべき、活動が見えない。

議会 悩みや改善策を聴き、執行部へ進言し回答しています。

チラシを作り持って回っています。

市民 政務活動費の金額はいくらか。後払い方式の精算は1から2か月が妥当と思う。

議会 現在研修は自費で行っている議員もいます。精算には、計画、承認、実施、報告等の流れがあり、半年は必要と考えています。

市民 政務活動費は明文化されているか。

議会 議会改革特別委員会で条例案を検討しています。



▲始良の夢を語りましょう

第10回 議会と

新庁舎建設・政務活

あなたの声を



▲西始良南自治集会所（参加者17人）



▲地域の要望もお願いします

市民 犯罪が多い、団地入口に防犯カメラを設置してほしい。
 議会 問題の多い所から順次カメラを設置していきます。
 市民 高齢者に対してバス代などの補助ができませんか。
 議会 今検討段階に入っています。

その他の要望

○ 市庁舎、手順はどうなっているか。なぜ60億円もかかるのか。

○ 参加者の意見に対しての説明、答弁の仕方がいまひとつ不足。説明の仕方を工夫する必要あり。
 ○ 地域下水について、浄化槽は長期留守の場合メンテナンスが来ず、結果汚泥を川に流すことになり、下水を考えるべきではないか。

アンケートからの主な要望

○ 新庁舎建設は本庁舎にいくつ、分庁舎にした場合加治木、蒲生にそれぞれ予算を組まれるのか明確にしてほしい。
 ○ 加治木、蒲生支所の行政サービスの計画を本庁舎建設計画と同時に進めていくべきと考える。
 ○ 議員定数を減らして報酬をアップさせる。
 ○ 小さな要望・地域で常々感じていることなど意見を聞いてほしい。

○ 温泉券でなく、無料バス券の発行を考えてほしい。

○ 黒川岬の自然を生かした、釣り場の施設を作り、活性化につなげてほしい。福祉に予算を考慮していただきたい。

○ 政務活動費3万円案もあったが、1万5千円の所もある。今までなかったものを税金で出す

から段階を踏むべきと考える。

地域の課題を含め、多くの意見をいただきました。紙面に掲載した質問や提言は、一部を抜粋したものです。皆さまの声を執行部、予算審査や市政運営に反映していきます。

「議会と語る会」の閲覧を希望される方は、始良市ホームページで検索できます。

始良市議会

検索

QRコードはこちら▶



お問い合わせ

議会事務局

TEL (0995) 6 5-2 3 3 2

FAX (0995) 6 5-2 3 7 2

E-mail

gchosa@city.aira.lg.jp



